

<平成23年4月 号外>

三鷹市議会議員 渥美 典尚 あつみのりひさ NEWS



連絡先：〒181-0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会

電話：0422-48-6338 FAX：0422-48-6338

HP「あつみのりひさ」と検索！ atsuminorihisa@gmail.com

UR 住宅にお住まいの方々の力になりたい。

4年前、あつみのりひさはそう願って三鷹市議会議員選挙に臨みました。「議員になって団地に住む皆さんに恩返しをしたい」、その思いは大きな決断を後押ししてくれました。

かつてより三鷹市内にある4つのUR住宅自治会は共同して毎年のように三鷹市議会に請願を提出していました。あつみのりひさが議員になる以前、これらURの方々が提出した請願は「満場一致」で可決されることはなく、「賛成多数」で可決されていました。

10名ほどの議員が反対をしていたのです。

新川公団に生まれて。

あつみのりひさは、昭和39年、新川公団（現・新川島屋敷通り団地）にある商店会の中の酒屋の次男として生まれました。子どもの頃は団地に住む友人がたくさんいて毎日のように団地の中で遊んでいました。

高校、大学時代は家業を手伝いつつ、また、酒屋專業になってからも団地の方々にたいへんお世話になって生きてきました。新川公団建て替えの際には、お住まいの皆さんが苦労する姿も見てきました。結婚して子どもが出来てからの6年ほどは新川島屋敷団地に住み、親子で暮らしました。

より良い環境ですっと暮らし続けたい、そう願う団地の皆さんと共にありました。

請願を満場一致の可決にするために。

なぜ請願が満場一致賛成にならないのか。URの方々の思いを汲んでくれないのか。

あつみは、URに居住する方々の思いを三鷹市議会議員全員が共有できるようにと願い議員として出発しました。

議員になった最初の年の請願は満場一致にすることはできませんでした。しかし2年目からは念願の「満場一致の可決」を実現することができました。URの皆さんの思いを懸命に語り、今まで反対していた議員に説明したのでした。

これからも恩返し。

国策としてスタートした公団住宅は運営形態が変わりURという名前になっても国民の大事な財産であることは変わりません。完全民営化などあってはならないことです。ゆとりある空間と豊かな緑を有する住宅は、現状にあるからこそ維持ができており、それらは近隣市民にとっても憩いのエリアとなっています。また、UR住宅に暮らす皆さんは、三鷹市にとっても発展をともに歩んできた大切なパートナーなのであります。

あつみのりひさは、これからもURにお住まいの皆さまの力になるための活動をしっかりと進めて参ります。